

都立野津田高等学校 令和3年度 教科( 地理・歴史科 ) 科目( 地理A ) 年間授業計画

教科 : ( 地理・歴史科 ) 科目 : ( 地理A ) 単位数 : ( 2 ) 単位

対象学年組 : 第1学年 1組～ 4組

使用教科書 : 高等学校 新地理A ( 帝国書院 )、新詳高等地図 ( 帝国書院 )

使用教材 : 図説地理資料 世界の諸地域NOW 2021 ( 帝国書院 )

	指導内容	科目 ( 地理A ) の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	地球儀や地図からとらえる現代世界	〔日本の位置と領域〕 ・地球儀や世界地図などを活用して、日本の位置をとらえることができる。 ・我が国が当する領土をめぐる問題や経済水域の問題について、我が国が正当に主張している立場を理解するとともに、国境のもつ意義や領土問題が人々の生活に及ぼす影響などを理解する。	関心・意欲：授業態度 思考・判断・表現、技能：プリント提出、定期考査 知識：定期考査	6
5 月	地球儀や地図からとらえる現代世界 日常生活と結び付いた地図 中間考査	〔位置、方位、時差〕 ・地球儀や世界地図を活用して、地球上の任意の位置を緯度・経度によって示すことができる。 ・時差の存在とその必要性を理解し、簡単な時差の計算ができる。 〔地球儀、世界地図〕 ・地球儀や世界地図を活用して、球面を平面にすることはできないことと、そのため用途に応じて様々な図法の地図が作成されていることを知る。	関心・意欲：授業態度 思考・判断・表現、技能：プリント提出、定期考査 知識：定期考査	8
6 月	地球儀や地図からとらえる現代世界 世界の生活・文化の多様性	〔身の回りにある地図の収集と地形図の読図〕 ・地形図は地表の様子を描くために等高線と地図記号を用いていることを知る。 〔宗教、民族と人間生活〕 ・三大世界宗教について、その分布を大観し理解するとともに、その他のいくつかの宗教を知る。 また、宗教と日常生活のかかわりについて理解するとともに、世界の主な言語や民族の分布を大観し知る。	関心・意欲：授業態度 思考・判断・表現、技能：プリント提出、定期考査 知識：定期考査	8
7 月	期末考査 日常生活と結び付いた地図	〔身の回りにある地図の収集と地形図の読図〕 ・市街図、道路地図、観光案内図などの身の回りにある様々な地図を知る。 〔主題図の作成〕 ・学校から最寄り駅までの地図など、簡易な地図を描くことができる。また、地理情報システム (GIS) が様々な分野で活用されていることを知る。	関心・意欲：授業態度 思考・判断・表現、技能：プリント提出、定期考査 知識：定期考査	5
8 月				
9 月	世界の生活・文化の多様性	〔自然環境と人間生活〕 ・世界の陸地が、安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯からなることを知り、環太平洋造山帯やアルプス=ヒマラヤ造山帯からなる新期造山帯では地震の発生や火山活動が多く見られることを知る。 ・世界の気候について、大気の大循環を踏まえ、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯 ( 冷帯 )、寒帯の分布を知る。	関心・意欲：授業態度 思考・判断・表現、技能：プリント提出、定期考査 知識：定期考査	8
10 月	世界の生活・文化の多様性 中間考査	〔自然環境と人間生活〕 ・世界や日本の主な地形の特色と人間生活との関わりについて知る。 ・世界の気候について、大気の大循環を踏まえ、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯 ( 冷帯 )、寒帯の分布を知る。	関心・意欲：授業態度 思考・判断・表現、技能：プリント提出、定期考査 知識：定期考査	10
11 月	世界の生活・文化の多様性	〔世界の諸地域の生活・文化と多様性〕 ・世界の諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	関心・意欲：授業態度 思考・判断・表現、技能：プリント提出、定期考査 知識：定期考査	8
12 月	期末考査 地球儀や地図からとらえる現代世界	〔国家間の結び付き〕 ・国家間の結び付きや貿易について、主題図を活用して国際連合やEU、ASEAN、OPEC、WTOなど主要な組織とその役割を知る。 ・交通・通信や観光について、様々な交通手段や通信手段の特性を知るとともに、世界の観光の動向について知る。	関心・意欲：授業態度 思考・判断・表現、技能：プリント提出、定期考査 知識：定期考査	5
1 月	世界の生活・文化の多様性	〔世界の諸地域の生活・文化と多様性〕 ・世界の諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。	関心・意欲：授業態度 思考・判断・表現、技能：プリント提出、定期考査 知識：定期考査	3
2 月	生活圏の地理的な諸課題と地域調査	〔課題解決のための地域調査〕 ・地域調査の基本的な方法や課題設定から発表までの流れを知る。 ・調査結果を図表や地図にまとめて表現する方法を知る。	関心・意欲：授業態度 思考・判断・表現、技能：プリント提出、定期考査 知識：定期考査	4
3 月	生活圏の地理的な諸課題と地域調査	〔課題解決のための地域調査〕 ・地域調査の基本的な方法や課題設定から発表までの流れを知る。 ・調査結果を図表や地図にまとめて表現する方法を知る。	関心・意欲：授業態度 思考・判断・表現、技能：プリント提出、定期考査 知識：定期考査	5

都立野津田高等学校 令和3年度 教科(公民) 科目(現代社会) 年間授業計画

教科 科：(公民科) 科目：(現代社会) 単位数：(2) 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：新現代社会(第一学習社)

使用教材：なし

	指導内容	科目(現代社会)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	環境と私たちの生活	現在の地球環境問題の論点を整理し確認させた上で現状を把握させ、私たちの日常生活にとって、身近な問題であることを自覚させ、知識、教養の定着を図る。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	2
	資源・エネルギーと私たちの生活	資源・エネルギーに関して、我が国のことのみならず、諸外国の置かれている現状の包括的理解とともに国家間の利害の衝突について取り上げる。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	4
5 月	科学技術の発達と私たち	青年期という固有の時期について、その特徴とりわけ自立への準備期間について学ぶ。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	4
	青年期と自己の形成	適応と個性の形成について思索させる。  アイデンティティの確立や防衛機制について学習を深める。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	4
6 月	自己形成の課題	他者とのつながり他の集団、社会とのかかわりを意識し、他者理解、自己の幸福の追求や社会を幸福にしておくために責任ある個人としての自覚を養う。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	4
	日本人としての自覚	・伝統や文化が私たちの日常生活に様々な影響を与えてきたことを理解する。 ・東京の発展について考察し、オリンピックとの関連について考察する。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	5
7 月	個人の尊重と法の支配	・現代社会と法がどのような関わりをもっているか考察する。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	4
8 月				
9 月	日本国憲法の基本的性格	憲法三大原則の「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」について、中学校までの知識をより深め民主主義のあり方を学ばせる。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	4
	憲法制定過程と、現在の立憲主義のありかたについて	日本国憲法の基本的性格、その制定過程それぞれに関して基本的な知識・教養を持たせ、諸外国の政治体制との違いに着目させる。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	5
10 月	自由に生きる権利	自らの自由や権利を主張するということは、同時に他者の自由や権利を侵害しないという制約を受けること、また、社会生活の中で個々人が果たす役割や責任について考察する。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	4
	平等に生きる権利	差別のない社会を実現するために、社会として、個人としての役割を考察する。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	5
11 月	社会権と参政権、請求権	夜警国家から福祉国家への変化の過程で登場してきたものであることを理解させるとともに、教育、労働、福祉にかかわる社会制度の整備との関連を理解させる。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	4
		憲法制定時では考えられなかった国民の権利に関して理解し、また、他者および他の集団とのかかわりについて、よりよい姿を考察する。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	4
12 月	平和主義と我が国の安全	平和と安全の確保が、人類福祉を実現する上で欠くことのできないものであることに気付かせる。また、日本国憲法の平和主義の理解の上で我が国の安全保障と防衛について理解を深めさせる。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	4
1 月	政党政治と選挙制度	公職選挙法の改正に伴い、現代の政治における個人、政党及び圧力団体の行動、住民運動などについて取り上げ、客観的な資料を基に様々な角度から考察させることを通して、国民の政治参加が政策決定に及ぼす影響や、主権者としての政治参加の在り方について考察する。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	2
	現代の経済社会	経済のしくみについて理解する。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	3
2 月	日本経済の特質と国民生活	日本の経済の特質と、私たちの生活との関連について考察し、日本の経済活動の特徴を理解する。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	2
	国際政治の動向	国際平和や国際協調について理解し、国際政治の安定や世界経済の発展との関連について理解する。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	2
3 月	国際経済の動向と国際協力	経済協力や国際的な援助の現状や課題について考察する。	自ら主体的に取り組んでいるか、 調査、授業態度、提出物等 によって総合的な評価を行う。	4